

尾張徳川の足跡を訪ねて 番外編5 ～藩主の書～

1月4日から徳川美術館で「日本の神々降臨」展が開かれています。藩主ゆかりの品も出品されています。



第14代藩主徳川慶勝の書<熱田神宮神号>

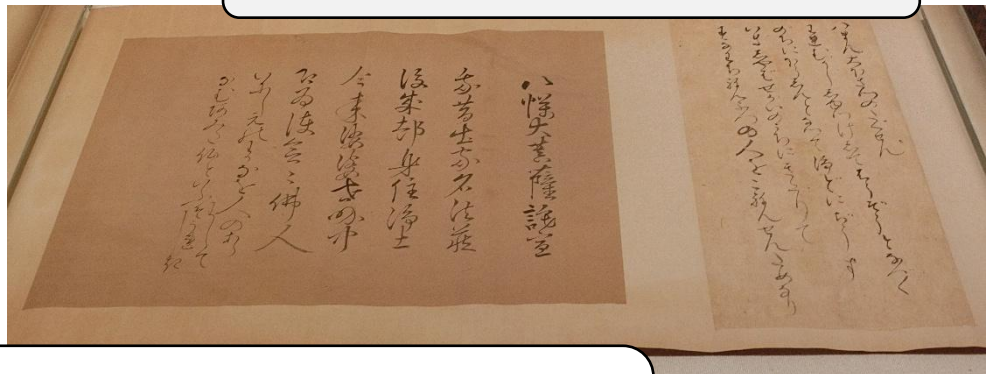
布用に石版印刷されている。慶応4年6月に熱田神宮の社号を明治天皇から賜るまでは熱田社の名で定着していた。歴代藩主も家督相続後に初めて名古屋入りした際に熱田社に参詣した。

幕末に活躍した慶勝公の書はこんな感じ

初代藩主徳川義直の書<八幡大菩薩託宣>

八幡大菩薩の本地は阿弥陀如来であるという神仏混合の信仰を表す内容。

男手も女手も穏やかな書風



第6代藩主徳川継友の書<「八幡宮」額>

尾張徳川の八幡信仰が伝わってくる。

武家には、やはり八幡様

第2第代藩主徳川光友の書

<天神名号「南無天満大自在天神」>

名号の書も、画像同様に天神信仰の対象となったという。

堂々たる書 さすがです

江戸時代の津島祭や名古屋東照宮祭の絵なども展示されていて、なかなか楽しめます。

